




# We Know SENDAI

## IT技術と知見を基盤とし新たな価値の創造を担う

ニッセイ情報テクノロジー  
株式会社

 ニッセイ情報テクノロジー株式会社

団保・共済ソリューション事業部  
事業部長

加藤 雅之氏

### 「保険・共済」「年金」「ヘルスケア」領域で 業界のシステムを構築

当社は日本生命グループのIT戦略を担う会社として1999年7月に誕生しました。以来、日本生命及びグループ各社の情報システム構築や運用、BPOに至るITサービスの提供にて培った豊富な経験をベースに「保険・共済」「年金」「ヘルスケア」の領域でベストソリューションを提供しております。「保険・共済」「年金」「ヘルスケア」分野では今後、さらに進展する超高齢化社会を支える新たなインフラが求められており、その仕組みを実現していくためのシステムインフラ整備を担っていきたくと考えています。なお、会社設立から18年を経た2017年3月期の売上高は約707億円、従業員数は約2,200名、主な事業所は東京と大阪です。

### 優秀な人材を確保しやすいのが魅力

IT業界における人材不足が深刻化したことで地方都市への進出を検討。保険や年金は金融の中でも複雑な業務ですので、長期的にしっかりと人を育てノウハウを培って開発を行える拠点を作りたいという思いもありました。

仙台に開発センターを設置したのは、何より優秀な人材を確保できるからです。当社では復興へ貢献したいという思いから、2013年6月に仙台事務センターを先行して開設しました。優秀な人材が豊富であることはもちろん、仙台の土地柄を分かっていたことも開発センターの設置を決めた大きな理由です。企業保険事務に関しては東京で行って



いた業務全般を仙台へ移管。仙台の中心部には東北各地から優秀な人材が集まっており、レベルの高い仕事に満足しています。東京などの首都圏は範囲が広いうえ、需要も多いため、採用する企業にとっては激しい競争を強いられることとなりますが、仙台では人材確保がスムーズに行えます。金融開発は高度の品質とセキュリティを求められる世界です。開発センターを開設する際には、金融システムの開発業務を行っている企業が仙台に少ないため懸念を抱いていましたが、杞憂に過ぎませんでした。システムエンジニアとしてのスキルも高いレベルにあります。仙台市からは事務センター開設当初よりご支援を頂いております。また今般の開発センター開設にあたっては、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会（MISA）のビジネス推進委員会に窓口になっていただき、会員企業の紹介や協業体制の実現など、団体主導でリソースマネジメントを支援していただきました。仙台のIT企業様との関係作りはもちろん、当社のアピールなども行っていただき大変感謝しています。

### 仙台でシステムを保守する体制を創っていききたい

大阪で行っている開発業務の一部を仙台に移管するのが直近のミッションです。現在、団体保険の開発を手掛けていますが、構築されたシステムは10～20年動くこともありますし、その間に法律や制度への変更にもしっかりと対応してシステムを継続的に稼働させていかなければなりません。作るよりも保守が大事と言われる所以です。10年、20年という期間にわたり、保守を行うためにはシステムにも詳しく、業務内容にも精通している人材が不可欠です。真面目で忍耐強さもある仙台の人は長期間かけて行う業務にも最適ですので、人材を年単位で育成し、システムを保守していく体制を創っていきたくと考えています。

仕事を離れて一番感動したのはセリ鍋の美味しさです。根っこを食べるのは驚きでしたが（笑）、仙台でしか味わえません。古き良き仙台はもちろん、今の仙台も魅力にあふれる都市ですね。

（2017年12月19日取材）



[お問合せ]

仙台市経済局企業立地課  
仙台市総務局東京事務所  
仙台市企業進出ガイド

TEL 022-214-8245 / E-mail kei008040\_13@city.sendai.jp  
TEL 03-3263-5765 / E-mail som001310@city.sendai.jp  
<http://www.city.sendai.jp/invest/>